

Funai Overseas Scholarship 交流会 in London (Jul.31-Aug.3,2015)

(敬称略)

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
【奨学生】					
2009	岩井孝介 イワイ タカフ		Berkeley Sensor and Actuator Center (BSAC), University of California, Berkeley	ドラッグデリバリーの為の遠隔刺激による放出機能を有するマイクロカプセル Stimuli-Responsive Core-Shell Microcapsules for Therapeutic Applications	早いものでカリフォルニアに来てから6年が経ちました。 様々な人脈に恵まれ、楽しく充実した研究生活を続ける事ができたと思います。 専門内容はマイクロ流体技術を用いた生物・医療分野への応用研究です。昨年無事に博士号を取得し、現在は大学で研究を続けながら、マイクロ流体技術を応用した遺伝子解析装置を研究開発している企業への就職活動を行っています。
2010	吉本英樹 ヨシモト ヒデアキ		Royal College of Art, Innovation Design Engineering	Pulse and Rhythm - Exploring the Value of Repetitive Motion as an Element of Design -	ようこそロンドンへ！！
2011	方 弘毅 タカエ ヒロキ		マサチューセッツ工科大学 航空宇宙工学専攻	宇宙ロジスティクスの最適化	渡米して4年、無事MITの博士号を取れました。研究内容は有人宇宙開発のミッション設計最適化でした。卒業後はイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校でAssistant Professorとなりますが、今年の秋学期はNASAのJPLに滞在する予定です。引き続き宇宙開発の最適化の最前線を推し進めていきたいです。
2011	山本 薫 ヤマモト カル		University of Cambridge, Control Group, Department of Engineering	Passive interconnection networks in mass chains	博士課程も4年が終わろうとしています。博士号ももうそろそろ取れる予定です。 理論研究、基礎研究と呼ばれる部類に属していると思います。そしてそういう研究が好きです。 が、実用性の高い研究もしてみたいです。今後の方向性を模索中です。いろいろな意味で、よろしくお願いします。
2012	生駒勇人 イクマ ユウジン		Ecole Normale Supérieure de Cachan / Centre de Mathématiques et Leurs Applications	Field: Computational imaging Theme: Development of a wavefront estimation algorithm for a next-generation satellite telescope	食事がおいしくないアメリカやイギリスにお住まいの皆様、こんにちは。バゲット、チョコレートやワインなどおいしいものが豊富な美食の国フランスからやって参りました。新しい画像撮影方法を可能にするアルゴリズムの開発に興味を持っています。現在は、フランスの宇宙機構CNESとの共同研究で、次世代衛星に搭載するアルゴリズムを作っています。

Funai Overseas Scholarship 交流会 in London (Jul.31–Aug.3,2015)

(敬称略)

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2012	潮田 佑 ウチカ 祐		University of Chicago Department of Economics	産業組織論、家族の経済学	去年この自己紹介欄で大恥をかきましたが、みなさまの燃える情熱を我が糧としたいこの気持ちは去年と何ら変わりません。デザイナーやコンピューターサイエンティストにパイロット、数学者や起業家にコーフボール選手、とたくさんの方とお話するのが今年も楽しみにしています。
2012	長野光希 カノコキ		USC Viterbi School of Engineering, Computer Science Department/ Institute for Creative Technologies	フォトリアルなデジタルヒューマン	交流会は、普段なかなか会うことのない同じ境遇で頑張っている仲間達に会えるので毎年楽しみにしています。またそのような場を提供していただく財団の方には感謝しています。特に今年は初めてのヨーロッパ開催なので楽しみです。
2012	富山大輝 ハタケマ タキ		カリフォルニア大学バークレー 校機械工学科	非線形光導波路、具体的には 1. 第二次高調波発生 2. 三準位系を利用したデバイス 3. PT対称性	趣味はビール、日本酒、筋トレ、将棋観戦、ラップです。よろしくお願いします。
2012	森 亮 キリョウ		Applied Science and Technology, University of California, Berkeley	光電子分光による強相関電子系物 質の分析	こんにちは、森です。無難に穏やかに生きたいです。よろしくお願いします。
2012	山田倫大 ヤマダ リンダイ		University of Oxford, Department of Computer Science	Intensionality in Computation, (Foundations of) Constructive Mathematics, Category Theory and Algebra, Diagrammatic Calculus	オックスフォード大学計算機科学科に所属しています、山田倫大です。自分の研究興味を一言で表すと“Beautiful mathematics with underpinning concepts”です。現在はゲーム理論的な計算のモデルを考案し、その数学的構造を圏論、抽象代数学の観点から発展させています。また、このモデルと型理論や幾何学との関連も研究したいと考えています。留学も3年目後半に差し掛かり、英国での生活を、その独特な天気も含め、楽しむことができる様になってきました。交流会では、皆さんと接する中で刺激を受け視野を広げられればと思っています。どうぞよろしくお願いします。

Funai Overseas Scholarship 交流会 in London (Jul.31–Aug.3,2015)

(敬称略)

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2013	大滝謙太 オホタキ ケンタ		University of California, Irvine Materials Science and Engineering	Radiation damage in multiphase ceramics The investigation of the damage induced by ion radiations in multiphase ceramics, which is proposed as a nuclear fuel material with a high efficiency for nuclear reactors	A heavy use of electron microscope!
2013	重本祐樹 シムボ ユキキ		Institute for Manufacturing, University of Cambridge	デザインマネジメント	よろしくお願いします。
2013	篠原 肇 シノハラ ヒロキ		Cavendish Laboratory, University of Cambridge	リチウムイオン電池の性能向上へ 向けた遷移金属酸化物の合成・評 価 低次元量子フラストレーション系 物質の合成・評価	ノーベル賞輩出数世界最多のキャベンディッシュ 研究所が設置する特待プログラムに日本人で史上 初めて採用される。産学官連携ワールドチャリ ティのプロジェクトリーダーを務め、発展途上国 の飲料水評価・取得の支援を行っている。コーフ ボール日本代表としてアジアカップ@香港に出 場。背番号#77。
2013	中村拓磨 ナカムラ タカ		Georgia Institute of Technology, Aerospace Engineering	画像処理を用いたUAVの制御	アトランタにあるジョージア工科大学でUAVの 制御の研究をしています。最近特に画像処理を 用いたナビゲーションの研究を中心に行っていま す。一番新しい論文では、カメラの画像から特徴 点を抽出、追跡することによってGPSが使えない 状況でも自己位置推定ができる、という内容につ いて書きました。修士号も取得し、Qualifying Examにも受かったので、現在は本格的に研究に 取り組んでいます。趣味で乗っているセスナも 2ヶ月に1回は飛ばすようにして鈍らないために頑 張ってます。
2013	前田一輝 マエダ カズキ		California Institute of Technology, Department of Mechanical Engineering	1. 液体中の圧力変動場における 気泡群のモデリング及び大規模数 値解析 2. 複雑流体中における圧力波伝 播の解析及び制御 3. 混相流の非平衡統計力学	主に力学、応用数学を用いる研究を行っておりま すが、その他さまざまな分野にも興味がありま す。よろしくおねがいいたします。

Funai Overseas Scholarship 交流会 in London (Jul.31–Aug.3,2015)

(敬称略)

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2014	五十嵐歩美 イハル アミ		Department of Computer Science, University of Oxford	Algorithmic aspects of cooperative game theory	組合せ構造を持つゲーム理論の問題に取り組んでいます。趣味はバスケットボールで、休日は近所の公園で友達とバスケをしています。色んな分野の方々とお話できるのを楽しみにしています。
2014	岡本一秀 オカモト カズヒデ		Georgia Institute of Technology School of Aerospace Engineering Dynamics and Control Systems Laboratory	Stochastic Model Predictive Control, Human Driver Modeling	えあるすパーすえんぢにありんぐというところにいるはずなのですが、最近は自動車の制御の研究をしています。ロンドンには3年前にバックパッカーで来て以来です。何を血迷ったか椅子が蛍光緑の透明色の寿司屋(たしか名前はwasabi)に行ったらイギリス食文化の洗礼を受けた他、数多くの嫌な思い出があります。今回はこの思い出達を忘れられるくらい楽しみたいです。よろしくお願ひします。
2014	金石大祐 イシダイ ユウ		University of California, Berkeley Department of Mechanical Engineering	Exoskeleton(ウェアラブルロボット)の制御に関する研究	リハビリや高齢者の歩行アシストのロボット等は開発され始めていますが、日常生活で常時利用できるようなロボットを創れたらと思っています。人工知能に詳しい方がいましたら、お話を聞かせていただけると嬉しいです。趣味はスポーツ、特に野球が好きで、広島カープの91年以来の優勝を期待しています。よろしくおねがいします。
2014	下 英恵 シモ エイ		University of Cambridge, Department of Biochemistry/The Gurdon Institute	人工的再構成系を用いたアクチン細胞骨格の形成機構の研究	1個の単純な受精卵から、複雑な個体ができる発生過程の仕組みに興味があります。渡英してから生命情報科学の分野からより生化学実験中心の分野へ移り、日々タンパク質精製と顕微鏡と格闘しています。交流会で皆様にお目にかかれることを楽しみにしています。
2014	田中秀宣 タナカ ヒロノブ		Harvard University / Applied Physics	Self-replicating clusters of spherical particles	学部時代は京大 理物で超伝導等の量子凝縮系の勉強、研究をしていましたが渡米を機に分野をガラッと変え現在は"Conway's Game of Life"のようなことをコロイドで出来ないか?(コロイドのクラスターが子供を作れないか?)を考えています。その他に共同研究でDNAの統計力学的特性のモデリングやナノワイヤーの自己組織化のプロジェクトにも携わっており、応用数学、統計力学、生物物理に広く興味を持っています!様々な分野のお話を色々教えていただけると嬉しいです。趣味はテニスです!


Funai Overseas Scholarship 交流会 in London (Jul.31-Aug.3,2015)

(敬称略)

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2015	青木俊介 アキ シュンスケ		Carnegie Mellon University, Electrical & Computer Engineering	「自動運転車のためのセンシングに関する研究」の予定(渡米前は「センサデータのプライバシー情報保護」及び「車両データを用いたマイニング」)	現実世界の全ての情報をコンピュータの世界に取り込むための研究をしています。渡米前は中国の研究所でPM2.5と戦っていました。CMUではソフトウェアだけでなくハードウェアも触ってみようかと考えています。よろしくお願いします。
2015	荒川智洋 アラカ トモヒロ		Purdue University, School of Electrical and Computer Engineering	無線伝送方式およびそのアルゴリズムに関する研究	今年からPurdue UniversityのPh.D.コースへ留学をする荒川と申します。東京高専にて約3年間、低速・長距離無線通信に関する研究を行ってきました。これまでの成果を応用し、今後も引き続き無線通信の研究に携わる予定です。どうぞよろしくお願いします。
2015	磯野文香 イノ フミカ		University of California, Berkeley Applied Science and Technology	レーザープラズマ加速に関する研究(予定)	最近(2,3千メートル級の)登山にはまっているので、アメリカで良いハイキングコースがありましたら是非教えてください。
2015	鷓飼貴也 カイ キヤ		Purdue University, School of Aeronautics and Astronautics	未定(今のところ、宇宙機の軌道計算・制御に興味あり)	宇宙を目指して勉強&研究がんばります!あと、登山が好きな方、一緒にアメリカの山登りしましょう!
2015	種田修三 タタ シュウジ		The University of Arizona, The School of Plant Science, Plant Pathology	留学先:植物-微生物間および、微生物-微生物間における共生機構の解明 学士:アーバスキュラー菌根菌の生態的宿主特異性におけるストリゴラクトンの役割	宿主(植物、微生物)と微生物間の共生関係や相互作用に興味を持っており、それを未来の農業に役立てる研究をしています。趣味は野球や水泳、自転車、読書です。船井財団にはいじられキャラという特別枠として選ばれたと自負しております。宜しくお願い致します。
2015	久門智祐 クモ トモヒロ		University of Pennsylvania	幹細胞の不均等分裂 Asymmetric Cell Division of Stem Cells	ニューヨークとワシントン(と、ボルチモア)へのアクセスの良いフィラデルフィアへぜひお越しください。いちおう世界遺産の自由の鐘もあります。

Funai Overseas Scholarship 交流会 in London (Jul.31–Aug.3,2015)

(敬称略)

年度	氏名	写真	所属	研究テーマ	コメント
2015	小林雄貴 コバヤ ユキ		Department of Chemistry, University of California, Berkeley	高次高調波からの極端紫外線を用いた吸収分光による、固相・気相分子のアト秒電子ダイナミクスの解明	今年の7月にUC Berkeleyへ進学しました。現在はサマースクールに出席しています。せっかく西海岸に来たのだからアウトドア系に転職しようと思い、奮発してスポーツバイクを購入しました。今は街乗りの段階ですが、いつかはロードバイクを購入してCalの帽子かぶって金門橋を爽やかに駆け抜けたと思っています。
2015	早坂 丈 ハヤカ タツ		University of California, Berkeley Department of Mechanical Engineering	Micro Electro Mechanical Systems (MEMS) に関する研究 (MEMS: 主にシリコン基板を加工して微細な機械構造を形成したり、金属を成膜・パターニングして配線を形成したり、LSIと一体化させて高機能化させたりしています。) 修士：導電性ダイヤモンド電極のLSI上への形成 (アレイ上の電極でバイオイメージング、ダイヤモンド電極の電気化学的優位性を活かして高機能化) 博士：(111)Si 基板上へのPZT (圧電材料) のエピタキシャル成長 (MEMSデバイスを開発する立場から、加工のノウハウが蓄積されたシリコン基板上に高性能な圧電膜をエピタキシャル成長させる試み) 今後：UC BerkeleyにおいてもMEMS/ナノテクに関する研究を行う予定	初めてMEMSというものを知ったとき、それが日常生活で既に役立っていること、様々な分野に応用出来ることに魅力を感じました。例えば、商業的に成功しているMEMSデバイスの一つに加速度センサやジャイロセンサ等の慣性センサがありますが、スマートフォンやゲームのコントローラー、自動車、航空制御等、様々な分野に応用されています。かねてよりMEMS技術を通じて様々な分野の研究者と関わることを楽しみにしていたので、交流会は私にとってとても良い機会になると期待しています。
2015	塩出晴海 シテ ハルミ		Harvard Business School	「ビジネスを通じた自然と現代社会の更なる調和の実現」	Nature, Inc.を米国で立ち上げ、「自然と社会の調和をビジネスを通じて実現する」という自身の野望に向けて奮闘中！
2015	永島航洋 カヅ ユキ		Carnegie Mellon University Tepper School of Business	N/A	初めてのロンドン、とても楽しみです！

Funai Overseas Scholarship 交流会 in London (Jul.31–Aug.3,2015)

(敬称略)

年度	氏名	写真	所 属	研究テーマ	コメント
【財団関係者】					
	益田隆司	マスタ ㇿㇿ	船井情報科学振興財団業務執行理事		
	船井顯	ㇿㇿ ㇿㇿ	船井情報科学振興財団副理事長		
	岡田讓二	ㇿㇿㇿ ㇿㇿㇿ	船井情報科学振興財団理事		